

1 指導計画

ねらい 年鑑の種類や特性、構成、使い方を知り、目的に応じて活用できる。

本時の目標

- ・年鑑の特性と構成がわかる。
- ・年鑑の使い方がわかり、目的に応じて調べることができる

大まかな流れ

1. 本時の学習の目的を知る。
2. プレゼンテーションを見る。
 - ・年鑑の種類と内容、年鑑の特性と構成
 - ・調べ方（目次・索引）
3. 活動（調べる→話し合い）
（調査者・調査年・単位）
4. ふりかえり・まとめ

プレゼンの1部

年鑑とは

1年間のできごと(ニュース)
統計(調査したものをまとめたもの)
などを、集めた本



ずかんや百科事典と同じだよ。

もじを読んだり、さいんをひいたりします。

もじの見方

①ニュース(できごと)編か統計編かを考える。
②太い文字や大きい文字、色のちがう文字を見る。(大項目)
③次に大きい文字、色のちがう文字を見る。(中項目)
④小さい文字を見る(小項目)

つまり、目次は、大項目→中項目→小項目の順に見ます。

2 活用した本のリスト等

朝日ジュニア学習年鑑

(2010、2011、2012、2013、2014、2015、2016、2017、2018、2019)
学級人数分全 17冊

3 児童生徒の様子

本校の児童は、学校図書館で「名人ワーク」として、本を使って答えを調べる問題に低学年から取り組み、百科事典や図鑑で調べ学習をすることには慣れている。しかし、「年鑑」は、指導するまでは、手に取ることはほとんどない。本時の指導では、個人差が大きく、なかなか答えまで行きつかない児童や、資料は見つかったにもかかわらず、単位や見方がわからない児童もいた。ワークシートの問題には「目次・索引のどちらから調べてもいい」と指示した。問題によって、調べ方を使い分けた方が便利なことに気付けた児童もいたが、索引のキーワードを間違えてしまう児童もいた。

○成果と課題（今後の方向性等）

初めて手にした年鑑であったが、「早くもっと調べたい」と問題の答えを見つけることに意欲を示す児童も多かった。しかし、本時は指導内容が多かったため、調べ学習を十分楽しませることができなかった。学校図書館に「名人ワーク」同様に、5・6年生用「年鑑ワーク」を置き、調べ学習を楽しませるようにしたい。

<めあて> 年鑑の使い方名人になろう！！



和歌山県の「米のとれ高」を調べよう。

目次	こゝ 大項目	こゝ 中項目	こゝ 小項目	ページ
さく引から	調べたことば（キーワード）			ページ

なぜの答え（単位もわすれずに書きましょう。）

	年		年	
	面積	とれ高	面積	とれ高
県				

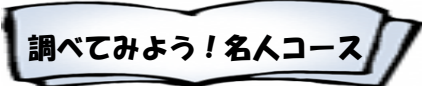


どこの調査か（^{ちょうさ} ）

最近の米のとれ高の多い都道府県を2位まで調べましょう。

☆気づいたことや考えたことを書きましょう。

	都道府県名	とれ高(万t)
1位		万t
2位		万t



次のことからについて、年鑑を使って調べましょう。一番新しい数を調べて書きましょう。

調べることから	数量(単位を忘れずに)		どこの調査か	調査した年
(例)日本の米のとれ高	832万t		農林水産省	2017年
漁業で働く人				
日本人の平均寿命	男	女		
和歌山県の人口	男	女		

☆ふりかえりをしましょう。(年鑑の使い方名人になるには?)

☆年鑑で調べてみたいなぞを書きましょう。